

- 問1 ヨーロッパからアフリカ北部を経て、スペイン南部の港から大西洋を横断し、北アメリカ大陸南東部のカリブ海に位置する島々に至る航路を初めて開拓した人物の名前を答えなさい。 (2016年 山口県公立入試 類似)
1. パスコ・ダ・ガマ 2. コロンブス 3. マゼラン 4. マルコ・ポーロ
- 問2 室町時代の農村で結成された「惣」の役割と特徴について、正しい説明はどれか。 (2016年 大阪府公立入試 類似)
1. 江戸幕府によって組織され、犯罪の防止や年貢の納入について農民に連帯責任を負わせた。
2. 寄合を開いて独自の掟を定め、領主に対して年貢をまとめて納めるなどの自治を行った。
3. 有力な農民が特権的な地位を得て、農村における商品の流通や金融を独占的に支配した。
4. 幕府から販売の独占権を認められる代わりに、税を納める商工業者の組織として活動した。
- 問3 室町時代に形成された村の自治組織である「惣」について、その活動や社会への影響に関する説明として最も適切なものはどれか。 (2017年 静岡県公立入試 類似)
1. 有力な農民を中心に団結し、幕府や領主に対して借金の帳消しを求める土一揆を起こした。
2. 江戸時代に始まった制度であり、隣近所の5軒を1組として連帯責任を負わせた。
3. 幕府から村の運営を強制的に任せ、農村における商品の流通や金融を主な目的とした。
4. 商工業者が特権を得るために結成した同業者団体であり、関所の通行料免除を求めた。
- 問4 室町時代に農民たちが「寄合」を開き、自発的な自治組織を結成して行動するようになった主な背景として、最も適当な説明はどれですか。 (2022年 宮崎県公立入試 類似)
1. 領主が農民同士の争いを防ぐために、すべての村に寄合の設置を義務付けたため。
2. 室町幕府が農民の団結を促し、全国の関所を廃止して自由な貿易を行わせる方針をとったため。
3. 商人や手工業者が作った同業者組合に対抗して、農民が流通の独占を狙ったため。
4. 飢饉や社会の動乱に対し、農民たちが結束して用水の管理や自衛を行う必要が生じたため。
- 問5 「正長元年（1428年）より以前の借金はすべて返さなくてよい」という趣旨の言葉が当時の石碑などに刻まれている資料があります。このような要求を掲げて農民らが団結し、実力行使に及んだ背景について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。 (2019年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 太閤検地によって厳しく土地を調査され、重い年貢を課せられるようになったため
2. 幕府がキリスト教を禁止し、信者である農民たちに激しい弾圧を加えたため
3. 元寇による軍役の負担が重く、恩賞も十分に与えられなかったため
4. 貨幣経済の浸透により、農民が土倉などの高利貸しから借金をして苦しんでいたため
- 問6 室町時代に発生した土一揆の背景や特徴について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 新潟県公立入試 類似)
1. 五人組の制度を通じて農民が連携し、領主に対して年貢の減免を求めて強訴した。
2. 惣とよばれる自治組織によって農民が団結し、幕府に対して徳政令の発布を求めた。
3. 馬借などの運送業者が中心となり、幕府の権威を利用して商業の独占権を求めた。
4. 飢饉によって生活に困窮した都市の民衆が、米屋などを襲撃する打ちこわしを行った。
- 問7 特定の時代背景や出来事に基づいて作成された書物について、その内容と書物名の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2018年 東京都公立入試 類似)
1. 足利義満の時代に、観阿弥・世阿弥親子が作り上げた猿楽の芸術性を高めるために記されたもの — 枕草子
2. 一条天皇の後に仕えた清少納言が、宮廷での鋭い観察眼を文芸としてまとめたもの — 日本書紀
3. 御家人である竹崎季長が、元軍との戦いにおける自分の手柄を認めさせるために描かせたもの — 蒙古襲来絵詞
4. 律令国家としての仕組みを整えるなかで、天皇による統治の歴史を公式に記録したもの — 風姿花伝
- 問8 足利義政が推進した東山文化の特色や、その後の日本人の生活に与えた影響について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2015年 山口県公立入試 類似)
1. 金箔を多用した豪華な建築が特徴であり、大陸との貿易による富を背景にした公家文化が融合している。
2. 西欧の技術を取り入れた城郭建築が発達し、ふすま絵などの華やかで壮大な芸術が武士の間で流行した。
3. 禅宗の精神を取り入れた「わび・さび」を重んじ、畳や障子を用いた書院造という住宅形式が生まれた。
4. 天平時代の力強い建築様式を模範とし、唐招提寺金堂に見られるような国際色豊かな芸術が好まれた。
- 問9 承久の乱（1221年）から鉄砲伝来（1543年）までの歴史の流れにおいて、鎌倉幕府滅亡後の14世紀に起こった政治の動向について、正しい説明はどれですか。 (2019年 長崎県公立入試 類似)
1. 北条氏が執権として実権を握り、元寇の防衛に全力を注いだ
2. 後醍醐天皇が天皇中心の政治を再興しようとしたが、武士の不满を招き短期間で失敗した
3. 足利尊氏が江戸に幕府を開き、全国の守護を統制した
4. 織田信長が室町幕府の將軍を追放し、天下統一を推し進めた
- 問10 室町幕府が、京都に拠点を置く金融業者である土倉や、酒の醸造を行っていた酒屋に対して「倉役」や「酒屋役」といった税を課した理由と、その背景に関する説明として最も適切なものはどれですか。 (2020年 山口県公立入試 類似)
1. 幕府が貨幣の使用を禁止し、物々交換の経済へ戻すための資金を確保しようとした。
2. 幕府が土倉や酒屋を廃止して、すべての金融業務を公的な役所で行うための準備資金が必要だった。
3. 幕府の直轄領からの収入が不十分であったため、都市部の豊かな業者に特権を与える代わりに安定した税収を得ようとした。
4. 地方の有力な農村組織である「惣」が幕府に反抗したため、軍事費を捻出するために臨時の課税を行った。
- 問11 室町幕府の8代將軍・足利義政の時代に起こり、細川勝元（東軍）と山名持豊（西軍）の対立によって京都が主な戦場となった内乱の名称と、その後の社会の変化について正しい組み合わせを選びなさい。 (2022年 福島県公立入試 類似)
1. 島原の乱 — 鎖国体制が完成に向かう中、九州で起きた一揆をきっかけに幕府による宗教統制が強化された。
2. 応仁の乱 — 幕府の支配力が弱まり、各地の戦国大名が実力で領国を統治する戦国時代へと向かった。
3. 承久の乱 — 朝廷が幕府を倒そうとして失敗し、六波羅探題が設置されて幕府による朝廷監視が強まった。
4. 観応の擾乱 — 鎌倉府と京都の幕府が対立を深め、関東地方を中心に長期にわたる混乱が続いた。
- 問12 鎌倉時代から室町時代の経済状況について、当時の貨幣の流通や使われ方を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2022年 沖縄県公立入試 類似)
1. 幕府が独自の鑄造技術を確立し、和同開珎に代わる新しい国産の銅銭を全国に流通させた。
2. 各藩が発行する藩札と呼ばれる紙幣が普及し、武士の給料や商品の決済に広く使われた。
3. 貨幣の使用は都市部の商人に限定されており、地方の農村では依然として物々交換が唯一の取引手段であった。
4. 中国から輸入された宋銭や明銭が大量に流通し、年貢を米ではなく貨幣で納める代銭納も行われた。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 コロンブス	スペインの支援を受けたコロンブスは、1492年8月にパロス港を出港し、同年10月にサンサルバドル島などのカリブ海諸島に到達しました。これが大航海時代におけるヨーロッパ人のアメリカ大陸到達の象徴的な出来事となりました。マゼランは世界周航を成し遂げた人物であり、バスコ・ダ・ガマはインド航路を開拓した人物です。
問2	答え 2 寄合を開いて独自の掟を定め、領主に対して年貢をまとめて納めるなどの自治を行った。	惣は農民の自立的な組織であり、その最大の特徴は「自治」にあります。彼らは寄合を通じて村独自のルールである「村掟」を作り、違反者を罰することもありました。また、個々の農民が直接領主に年貢を納めるのではなく、村全体でまとめて請け負う「百姓請（村請）」を行うなど、領主と交渉を行う団体としての側面も持っていました。他の選択肢は「座」「五人組」「株仲間」などの説明です。
問3	答え 1 有力な農民を中心に団結し、幕府や領主に対して借金の帳消しを求める土一揆を起こした。	惣の組織によって団結力を強めた農民たちは、自分たちの要求を通すために実力行使に出ることがありました。特に、徳政（借金の帳消し）を求めて起こした「土一揆」は、惣という自治組織の団結力が背景にあったからこそ、大規模な運動へと発展しました。
問4	答え 4 飢饉や社会の動乱に対し、農民たちが結束して用水の管理や自衛を行う必要が生じたため。	寒冷な気候による飢饉や頻発する動乱に直面した農民たちは、村ごとに結束して寄合を開き、用水の管理や防犯などの自治を行う惣を発達させました。
問5	答え 4 貨幣経済の浸透により、農民が土倉などの高利貸しから借金をして苦しんでいたため	室町時代には農業技術の向上や市場の発展により貨幣経済が広がりましたが、同時に生活に困窮した農民が土倉や酒屋から高い利息で借金をする状況も生まれました。支払いが困難になった農民たちは、団結して「徳政」をスローガンに掲げ、借金の帳消しを求めて一揆を起こしました。なお、太閤検地は安土桃山時代、キリスト教弾圧は江戸時代、元寇の影響による不満は鎌倉時代のことです。
問6	答え 2 惣とよばれる自治組織によって農民が団結し、幕府に対して徳政令の発布を求めた。	室町時代の土一揆は、村の自治組織である「惣」が基盤となっていました。彼らは団結して、幕府に対して借金を無効にする「徳政令」を出すよう要求しました。五人組は江戸時代の制度であり、打ちこわしは江戸時代中期以降に目立つようになった都市型の暴動です。
問7	答え 3 御家人である竹崎季長が、元軍との戦いにおける自分の手柄を認めさせるために描かせたもの — 蒙古襲来絵詞	鎌倉時代の『蒙古襲来絵詞』は、恩賞を得るために戦功を証明する目的で作成されました。世阿弥が能の神髄を説いたのは『風姿花伝』であり、清少納言の宮廷生活の随筆は『枕草子』です。また、国家の歴史を公式に記したものは『日本書紀』であり、それぞれの成立背景には当時の政治的・文化的な目的が強く反映されています。
問8	答え 3 禅宗の精神を取り入れた「わび・さび」を重んじ、畳や障子を用いた書院造という住宅形式が生まれた。	第八代将軍の足利義政は、応仁の乱後の荒廃した社会の中で、内面的な美しさを追求する文化を支持しました。慈照寺銀閣の東求堂にある同仁齋（どうじんさい）という部屋は、畳を敷き詰め、棚や机（付書院）を備えた書院造の代表例であり、現代の和室の原型となりました。
問9	答え 2 後醍醐天皇が天皇中心の政治を再興しようとしたが、武士の不満を招き短期間で失敗した	鎌倉幕府滅亡後の1334年に始まった建武の新政は、天皇に権力を集中させようとするあまり、幕府打倒に貢献した武士たちの期待を裏切る結果となりました。その不満を背景に、足利尊氏が離反して新たな武家政権を樹立することになり、政治体制は再び武士中心のものへと戻っていきました。
問10	答え 3 幕府の直轄領からの収入が不十分であったため、都市部の豊かな業者に特権を与える代わりに安定した税収を得ようとした。	室町幕府は直轄領（御料所）が少なかったため、財政を支えるために京都などの都市部で経済力を持っていた土倉（金融業者）や酒屋に注目しました。幕府は彼らに独占的な営業権などの特権を認める見返りとして、倉役や酒屋役と呼ばれる税を課し、重要な財源としました。このように、幕府が特定の商工業者と結びついて財政を維持していた点が室町時代の大きな特徴です。
問11	答え 2 応仁の乱 — 幕府の支配力が弱まり、各地の戦国大名が実力で領国を統治する戦国時代へと向かった。	1467年に始まった応仁の乱は、京都を主な戦場として11年もの間続きました。細川氏と山名氏の争いは泥沼化し、当時の都であった京都の街の大部分が焼失し荒廃しました。この乱を境に室町幕府の統制力はほぼ消滅し、守護代や国人が守護を追放するなどの「下剋上」が目立つようになり、群雄割拠の戦国時代が幕を開けることになりました。
問12	答え 4 中国から輸入された宋銭や明銭が大量に流通し、年貢を米ではなく貨幣で納める代銭納も行われた。	中世の日本では自前の貨幣がほとんど鑄造されず、宋や明といった中国との貿易を通じて輸入された銅銭（宋銭・明銭）が通貨として使われました。これにより貨幣経済が農村部まで浸透し、年貢を貨幣で納める「代銭納」が普及するなどの社会変化が起きました。独自の金・銀・銭の体系（三貨制度）や藩札などの紙幣が整備されるのは江戸時代になってからです。